

連続セミナー 障がい児・医療的ケア児の親と就労

第2回

# 取り残される障がい児・ 医療的ケア児の親たち

障がい児や医療的ケア児は、成長してもひとりで外出したり、留守番をしたりできるようになるとは限りません。子の年齢で区切ることができない、終わりが無い障がい児の育児と仕事の両立は大変なものです。こうした困難さを相談する相手はなかなか見つからず、ひとりで抱え込みがちです。

障がい児や医療的ケア児を育てる親が仕事をあきらめなくてもいい、多様性を認め合う風通しのよい社会になることを目指して、このセミナーでは、障がい児育児と仕事の両立について取り巻く現状と課題を共有し、そこから見える必要な仕組みや支援制度について考えます。

第2回は、障がい児・医療的ケア児にまつわる国と自治体の制度について、専門家や国の担当者からお話を聞きます。当事者同士で、実際にどんな制度を使っているかなど情報交換する時間も設けます。

## Childcare and Work

2023年 **10月21日(土)** 10:00~12:15

オンライン開催 (Zoomを使用します) **無料**

第1部 10:00~11:30 (定員300名)

トークセッション

「取り残される障がい児・医療的ケア児の親たち」

\*参加対象者:どなたでも参加できます。

第2部 11:40~12:15 (定員50名)

グループセッション

「何に困ってどんな工夫をしていますか?」

\*参加対象者:障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者。

お問い合わせ先 セミナー事務局 [work-parenting@asahi-welfare.or.jp](mailto:work-parenting@asahi-welfare.or.jp)

主催:障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会、社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団



朝日新聞厚生文化事業団



## 第2回 取り残される障がい児・医療的ケア児の親たち Program

10:00～10:05

ご挨拶

障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会会長 こども家庭審議会成育医療等分科会委員 工藤さほ

10:05～11:05

第1部 トークセッション

基調講演 「取り残される障がい児・医療的ケア児の親たち」

佛教大学社会福祉学部教授 田中智子さん

報 告 厚生労働省職業生活両立課 課長 平岡宏一さん

こども家庭庁支援局障害児支援課 課長 栗原正明さん

11:05～11:30

座 談 会 「育児と仕事の両立に向けて」

司会：市川亨さん（障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会会員、共同通信社編集委員）

メンバー：田中智子さん、平岡宏一さん、栗原正明さん、工藤さほさん

11:30～11:40

休 憩

11:40～12:10

第2部 グループセッション

「何に困ってどんな工夫をしていますか？」

\*参加対象者：障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者

12:10～12:15

ま と め

## Profile

### 「障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会」

知的障がいや発達障がい、肢体不自由や難病、医療的ケア児など様々な障がいや疾患のある子たちを育てながら、働く親たちの会です。子の年齢は乳幼児から社会人まで幅広く、仕事との両立のための工夫や、当事者ならではの育児の悩みに関する情報交換、企業内に障がい児・医療的ケア児の育児支援制度を創設してもらうなど、仕事と育児の両立を可能にするための働きかけをし、実現もしてきました。朝日新聞社内親たち8人で2016年11月に発足しました。現在、マスコミのほか金融、公務員、団体職員など様々な職場で働く親たち約140人が参加しています。親の死後も子の生涯にわたり扶養しなければと、経済的な備えをしておきたいと思っていたり、死別や離別により一人で子育てをしている人もいたり、働き続けなければならない切実な諸事情を抱えた人も多く、働きたいけれど働けなくなった人も参加しています。2022年4月に日本新聞労連共催でオンラインによる業界初の実態調査報告会開催、2022年9月厚労省「障害児通所支援に関する検討会」、2022年12月超党派議員連「永田町子ども未来会議」、2023年厚労省「今後の仕事と育児・介護の両立支援に関する研究会」にてヒアリングをしていただきました。

Facebook



### 申し込み方法

- 朝日新聞厚生文化事業団HPの申し込みフォームからお申し込みください。
- 申し込み受付期間：10月11日（水）まで

参加者には、開催前日までに登録のメールアドレス宛に参加用URLをお送りします。

### 参加対象者

- 第1部は、どなたでも参加できます。
- 第2部は、障がい児・医療的ケア児の育児をしながら働いている、またはこれから働きたいと思っている保護者を対象とします。
- 第1部、第2部とも定員に達し次第、締め切ります。

申し込みフォーム



お問い合わせ先 セミナー事務局  
work-parenting@asahi-welfare.or.jp

次回の  
お知らせ

第3回は、2024年2月頃に「誰もが働きやすい社会を目指して」をテーマで開催を予定しています。詳細は後日HPにて公開します。